

調 査 研 修 報 告 書 (議 員 用)

報告者：横路政之 ㊟

実施場所：第 12 回 地域医療フォーラム 2019 (秋葉原ダイビル)	実施日：令和元年 9 月 15 日
■目的・課題・問題事項（調査・研修に先立っての思いや本市の現状 など） ・人口減少が続く本市において、地元の病院をどう存続させていくかは喫緊の課題である と考える。地域医療の新しいかたち、また広域の連携医療システムについて先進的な取 組みなどを学んだ。	
■参考とすべき事項 ・松山市、在宅医療専門たんぼぼクリニックの取り組みは参考となった。 ・職員 4 人で患者ゼロからスタートし、現在は常勤医 10 人非常勤 2 人。職員 100 名まで 拡大されている。 ・医師の交代制を取り入れている。 ・病気だけを診るのではなく、その人、生活、生き方、地域を診ていく医療が求められて いるという考え方。 ・高齢化した地域のニーズに応える医療が提供できれば、経営も成り立つ。 ・疲弊しないシステムが構築できれば、やりがいを持って業務を行うことができる。	
■提言・その他（本市の施策等にどのように活用すべきか など） ・本市で上記のような事業展開をする場合、個人病院は別として、市民病院では限界があ ると思うが、医師の勤務体系等参考になることは多いと考える。 人口減少が続く本市としては、今までのやり方を転換する時期に来ているのではないかと 考える。	